

エリザとさくらの ものがたり

ガイドブック



春を告げる木 ～さくらと花水木のものがたり～

わたしは、30年ほど前から、アメリカ東海岸のニューヨーク州の森のなかで暮らしています。

森には、さまざまな木が生えています。松、かえで、栗、ポプラ、くぬぎ、白かば、ヘムロック、オーク、りんご、マウンテンローレルなど、数えきれないほどの種類の木です。

春になると、美しい花を咲かせる木。夏になると、動物が喜びそうな、おいしそうな実をつける木。秋になると、葉っぱが赤やオレンジや黄色に染まる木。冬になっても葉を落とさず、緑のままでがんばる木。そんな木々のなかに一本、長いあいだ、名前のわからない木がありました。毎年、ぶあつく積もっていた雪がとけて、森に新しい春がやってくると、まっ白なハンカチのような花を咲かせる木です。

わたしにとってその木は「春を告げる木」でした。はだか木の枝という枝に白い花が咲くと「ああ、春が来たな」と、思えるのです。あの木の名前は、なんというのだろう。

ある日、あるとき、アメリカ人の友だちが教えてくれました。

「あれは、ドッグウッドの木だよ。白く見えるのは、花じゃないんだ。花は、まんなかの緑のつぶつぶのなかで咲いているけど、とっても小さくて、目立たないんだよ」

ドッグウッド？ 犬の木？ おもしろい名前だなんて思って、さっそく図鑑で調べてみると、ドッグウッドの日本語名は「花水木」で、読み方は「はなみずき」。別名は、アメリカヤマボウシ。

ドッグウッドと名づけられたのは、一説によると、その昔、この木の皮を、犬の皮膚の病気を治すための薬として、使っていたからではないか、とのこと。ドッグウッドは、日本のさくらと同じように、春になると

まず花を咲かせて、そのあとで、若葉をつけます。そのため、アメリカでは、日本人がさくらのお花見をするのと同じようにして、ドッグウッドのお花見をするのだそうです。

ノースカロライナ州では花が、バージニア州では木と花が、ミズーリ州では木が、それぞれの州のシンボルの木や花として親しまれており、日本でも、愛知県、愛媛県、埼玉県、静岡県、東京都、長崎県、兵庫県、三重県など、さまざまな都道府県の市や区の木や花として、指定されています。

調べているうちに、ほかにも、いろいろなことがわかってきました。北アメリカに自生しているドッグウッドは、1915年（大正4年）に、アメリカから海をわたって、はるばる日本まで、旅をした木だったのです。

この年、アメリカは日本に、ドッグウッドの木を贈りました。白い花（正確には花ではありませんが）を咲かせる木を40本。ピンクの花を咲かせる木を20本。合計60本の花水木を、なぜ、いったいどんな目的で、日本に贈ったのでしょうか。それらの木は今も、日本のどこかで生きているのでしょうか？

海をわたったドッグウッド、こと、花水木。花水木のものがたりを知るためには、わたしたちはまず、海をわたったさくらのものがたりを知らなくてはなりません。花水木が贈られる前に、日本はアメリカに、さくらを贈っているからです。

太平洋を越えたこの寄贈は、ひとりの女性のひらめきから始まりました。彼女の名前はエリザ・シドモア。エリザとさくらのあいだには、どんなものがたりがあったのでしょうか。さあ、絵本の扉を開いてください。

『エリザとさくらのものがたり』の背景

ある春の日、お父さんと女の子が、どこからか飛んできた桜の花びらに気づきます。2人は横浜の外国人墓地で満開の花を咲かせる桜の木と、お墓に刻まれた「エリザ・シドモア」という名前を目にします。

『エリザとさくらのものがたり』の主人公エリザ・シドモアは、1856年10月14日、アメリカで生まれました。エリザには、2歳年上の兄、ジョージがいました。「外交官になりたいんだ」と将来を語るジョージ。エリザは、目をきらきらさせながら、ジョージの話聞いていました。世界のあちこちへ行って仕事ができたら、どんなにすてきだろう！

成長したエリザは、新聞記者になりました。1883年、エリザはアラスカ取材します。その翌年、エリザは兄を訪ねて、生まれて初めて日本の地をふみます。外交官になっていた兄のジョージは、横浜のアメリカ総領事館で働いていたのです。エリザは、たちまち日本に心をうばわれました。何度も日本を訪れては、人力車に乗って、日本各地を旅しています。日本の景色に魅せられ、数々の写真を撮り、アメリカに記事を書き送ったエリザが、なかでも心をうばわれたのは、日本の桜でした。やがてエリザは、四季折々に美しい日本の桜を、なんとかしてアメリカに植えることはできないだろうか、と夢見るようになります。

「ポトマック川の埋立地に桜を植えて、川沿いに、美しいさくら並木をつくりませんか？」

アメリカに帰国したエリザは、さっそく関係者に提案の手紙を書きました。しかし、24年もの長きにわたって、話はいつこうに前に進まなかったのです。

長年のエリザの夢が一步、実現に近づいたきっかけは、かねてから「アメリカにも、美しい桜並木を」と願っていた、植物研究家で農務省の職員、デイヴィッド・フェアチャイルドとの出会いでした。そしてエリザは、大

統領ウィリアム・タフトの妻ヘレン・タフトに手紙を書いたのです。すると、すぐにヘレンから前向きな返事が届きます。

1909年、エリザはワシントンDCで、民間外交につとめていた高峰譲吉と出会い、協力を得ます。高峰は、日本とアメリカの関係を良いものになりたいと考えていたのです。高峰はヘレン・タフトを訪ね、日本の桜の苗木をアメリカに贈る話を進めます。桜寄贈の話は、当時の東京市長・尾崎行雄によって現実のものとなります。尾崎は桜の苗木2000本をアメリカに寄贈します。しかし、輸送中に虫に食われたため、失敗。1912年、2度目の寄贈は無事に成功し、ポットマック河畔での植樹式には、エリザやヘレンも参加しました。1915年の春、桜のお礼として、アメリカから東京へ、白い花水木の苗木40本が贈られました。さらに2年後には、デイヴィッド・フェアチャイルドがピンクの苗木や種などを日本へ贈っています。

これらの花水木は、戦時中に伐採されるなどして、日本にはわずかしが残っていません。しかし、友好の証として今も花を咲かせています。そして、エリザが愛した桜の木は、今もアメリカのポトマック河畔で美しい花を咲かせているのです。

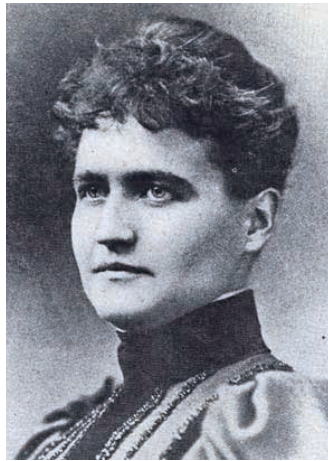
(文・編集部)



『エリザとさくらのものがたり』

小手鞠るい 文 大野八生 絵
少年写真新聞社 刊 (2023年1月)
AB判変型 / 32ページ / ハードカバー
定価1,760円 (本体1,600円)

エリザの桜をたずねて



エリザ・シドモア
(1856-1928年)

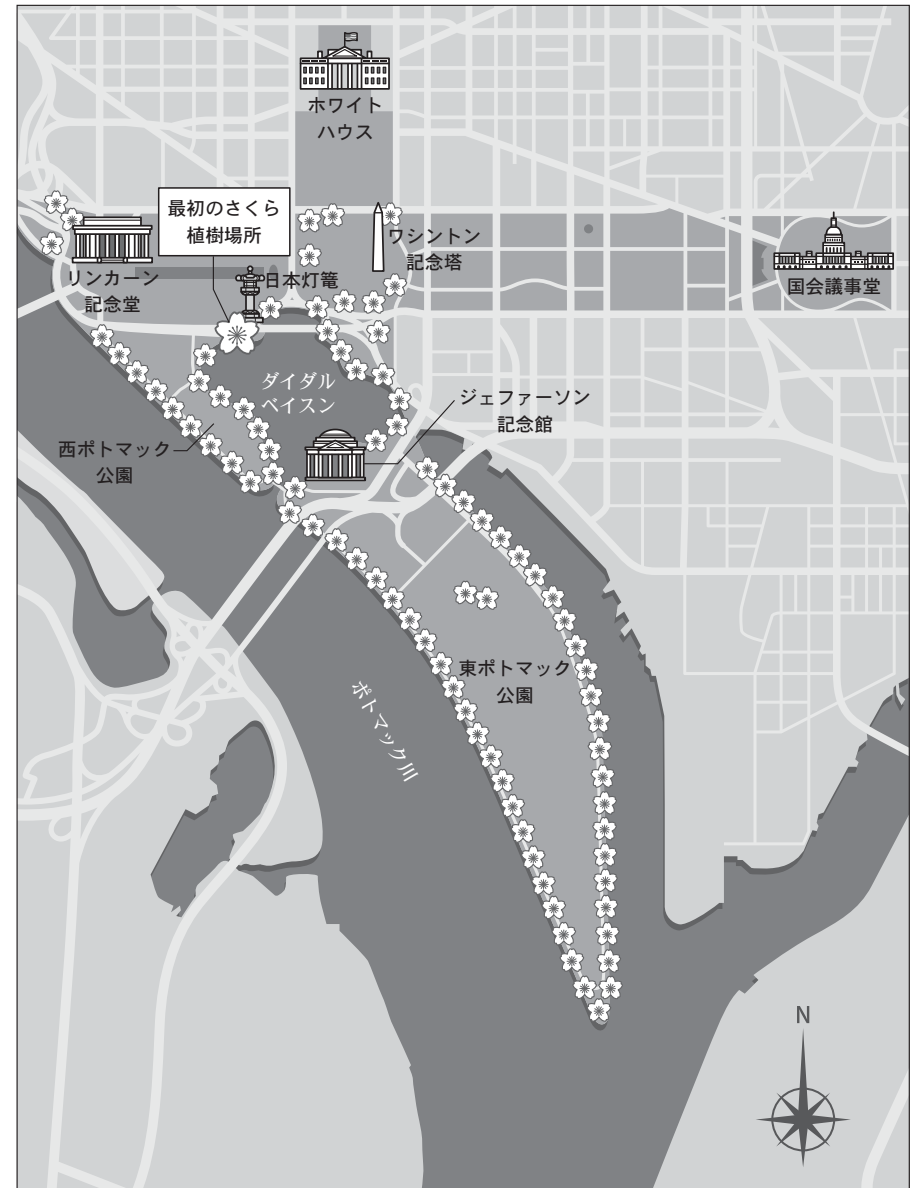
ワシントンDCに桜を咲かせる夢を実現したエリザは、1925年にスイスのジュネーブに移住し、3年後に亡くなりました。その翌年、エリザの遺骨は日本まで運ばれ、横浜の外国人墓地に埋葬されました。1991年には、ワシントンDCから送られてきた桜の苗木が、エリザのお墓のそばなどに植えられました。生まれ故郷にもどった木は「里帰り桜」と呼ばれ、そこから接木をした桜が日本各地に植えられ、現在も「シドモア桜」などといった名前で親しまれています。



横浜にはエリザ・シドモアの墓碑があり、墓前には里帰り桜が植えられています。埋葬者の業績を展示する資料館ではエリザも紹介されています。

ワシントンDCのさくらマップ

ワシントン中心部のナショナルモールにある池タイダルベイスンとポトマック公園を囲むようにさくらが植えられています。



National Park Service Webサイト Cherry Blossom Festival Map 2021 より作成

全国に広がる里帰りのさくら

地域それぞれに親しみをこめた名前と呼ばれています。



「里帰り桜」の子孫樹は、やがて日本全国に広がりました。あなたの町ではどんな名前と呼ばれ、どんな花を咲かせているのでしょうか。

高峰桜

金沢市 大乘寺丘陵公園



日米友好の桜

伊丹市 瑞ヶ池公園



ワシントンの桜

長崎市 平和公園・祈りのゾーン

足立レーガン桜

四国中央市 翠波高原

レーガン桜

足立区 舎人公園

ポトマック帰りの桜

墨田区 桜橋デッキスクエア

ワシントン桜

世田谷区 祖師谷公園

里帰り桜

横浜外国人墓地

号堂桜

相模原市 串川グラウンド

シドモア桜

横浜市 谷戸橋たもと



東京都

五色堤公園

足立区江北2-8-4

愛称：里帰り桜

荒川左岸鹿浜橋緑地（桜つつみ）

足立区堀之内1丁目先

愛称：里帰り桜

都市農業公園

足立区鹿浜2-44-1

芝生広場・新芝川沿いほか

愛称：里帰り桜

※江北の五色桜資料展示室もあります

舎人公園

足立区舎人公園1-1

プレイグラウンド東側

愛称：レーガン桜

江北北部緑道公園

足立区谷在家2-13から皿沼3-18まで

愛称：里帰り桜

隅田公園

台東区今戸1-1

台東リバーサイドスポーツセンター北東

愛称：ワシントン桜

桜橋デッキスクエア

墨田区向島2-1

隅田公園桜橋付近

愛称：ポトマック帰りの桜

祖師谷公園

世田谷区上祖師谷4-1

仙川沿い西側

愛称：ワシントン桜

東京都庭園美術館

港区白金台5-21-9

西洋庭園内

愛称：ワシントン桜

門と蔵のある広場

豊島区駒込3-12-8

愛称：ワシントンDCから里帰りした
ソメイヨシノ

神奈川県

横浜外国人墓地

横浜市中区山手町96

シドモア家墓前

愛称：里帰り桜



谷戸橋たもと

横浜市中区元町1-13-7地先

堀川沿い南側本町交番付近

愛称：シドモア桜

日吉の丘公園

横浜市港北区箕輪町3-13

愛称：シドモア桜

本牧山頂公園

横浜市中区和田山1-5

公園東側八口一坂口園路沿い

愛称：シドモア桜

弁天橋たもと

横浜市中区太田町6-87地先

大岡川沿い東側

愛称：シドモア桜

大倉山公園

横浜市港北区大倉山2-10

大倉山記念館前

愛称：シドモア桜

野毛山公園

横浜市西区老松町63-10 展望地区

愛称：シドモア桜

上郷・森の家

横浜市栄区上郷町1499-1

本館入口より約60m坂の上の左手

愛称：シドモア桜

川和町駅前菜の花畑（私有地）

横浜市都筑区川和町1253-1ほか

駅の東側線路沿い菜の花畑の西側

愛称：シドモア桜 ※看板掲示は春のみ

海老名市役所

海老名市勝瀬175-1
芝生広場西
愛称：シドモア桜

尾崎弔堂記念館

相模原市緑区又野691
庭入口と記念館東側
愛称：弔堂桜

津久井又野公園

相模原市緑区又野829
公園入口
愛称：弔堂桜

串川グラウンド

相模原市緑区長竹850-1
愛称：弔堂桜

静岡県

清水船越堤公園

静岡市清水区船越497
中央広場
愛称：里帰り桜

清水清見潟公園

静岡市清水区横砂219-9外
興津生涯学習交流館東側広場
愛称：里帰り桜

石川県

金沢ふるさと偉人館

金沢市下本多町6-18-4
愛称：高峰桜

金沢21世紀美術館

金沢市広坂1-2-1
敷地内南東部の茶室近く
愛称：高峰桜



大乘寺丘陵公園

金沢市長坂町ヲ135
上部駐車場からお花見広場に向かう主
園路沿いの右手
愛称：高峰桜

富山県

富山駅南口駅前広場

富山市明輪町73-1
愛称：里帰り桜

富山県中央植物園

富山市婦中町上轡田42
サクラ・ウメ園内東入園口近く
愛称：シドモア桜・高峰桜

高岡古城公園

高岡市古城1-9
大手口高山右近像東
愛称：ワシントンの桜

高峰公園

高岡市御馬出町51
愛称：ワシントンの桜

兵庫県

瑞ヶ池公園

伊丹市瑞ヶ丘5丁目
愛称：日米友好の桜

伊丹市立図書館「ことば蔵」

伊丹市宮ノ前3-7-4 中庭
愛称：日米友好の桜（100周年植樹桜）

愛媛県

翠波高原

四国中央市金砂町平野山乙306-1
ワシントンの園
愛称：足立レーガン桜

うちぬき広場

西条市神拝甲511-2
愛称：里帰り桜

長崎県

長崎市平和公園・祈りのゾーン

長崎市平野町5付近
長崎原爆資料館連絡通路前の広場
愛称：ワシントンの桜

《エリザとさくらをもっと知るために》

日本と日本の桜を愛したエリザが夢を実現させるためには、多くの人たちの力が必要でした。そのなかには、ふたりの日本人男性も含まれていました。詳しく知りたい人のために、3冊の本を紹介します。

* エリザの日本への愛を知るために

『シドモア日本紀行 明治の人力車ツアー』

エリザ・R・シドモア 著、外崎克久 訳（講談社学術文庫）

絵本内でも何か所かを引用して紹介しましたが、明治時代に人力車に乗って、日本全国を旅したアメリカ人女性の体験を通して、私たちも当時の日本の様子を生き生きと追体験できる、貴重なノンフィクションです。

* 桜の植樹に貢献した高峰譲吉を知るために

『日本科学の先駆者 高峰譲吉 アドレナリン発見物語』

山嶋哲盛 著（岩波ジュニア新書）

日本人男性として初めて、アメリカ人女性と結婚し、日本とアメリカの民間外交に力を尽くした高峰譲吉の一生を紹介する本です。絵本の中で、エリザが書いたヘレンへの手紙が功を奏した陰には、高峰譲吉の力添えもありました。

* 桜の植樹を実現させた尾崎行雄を知るために

『復刻版 人生の本舞台』

尾崎行雄 著、石田尊昭・高橋大輔 編（世論時報社）

日本からアメリカへ桜の苗木を送るために、具体的な行動を起こした当時の東京市長、尾崎行雄の生き方、思想、信念などが語られています。最初の寄贈は失敗しましたが、尾崎行雄の判断力、行動力によって、二度目の寄贈は成功しました。

『エリザとさくらのものがたり』 著者紹介

文 小手鞠 るい（こでまり るい）

1956年岡山県備前市生まれ。小説家。同志社大学法学部卒業。1992年からアメリカ在住。児童書、一般文芸など、著書多数。原作を手がけた絵本作品として『うちのおかあちゃん』（偕成社）など。

絵 大野 八生（おおの やよい）

1969年千葉県生まれ。イラストレーター・造園家として活躍。著書に『盆栽えほん』『ハーブをたのしむ絵本』『日本庭園を楽しむ絵本』（以上あすなろ書房）『みんなの園芸店』（福音館書店）ほか多数。光村図書出版の国語教科書の装画も手がける。

エリザとさくらのものがたり ガイドブック

2022年12月発行

発行 株式会社 少年写真新聞社

〒102-8232 東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷K Tビル I

Tel (03) 3264-2624 Fax (03) 5276-7785

<https://www.schoolpress.co.jp>

©少年写真新聞社2022

<写真協力>

シドモア桜の会 横浜／伊丹市空港・にぎわい課／
金沢市都市整備局緑と花の課／金沢21世紀美術館／
公益財団法人横浜外国人墓地